

知床世界遺産センター（仮称）について

環境省釧路自然環境事務所

目的

知床世界遺産センター（仮称）は知床世界自然遺産地域の入り口施設として、大勢の来訪者に対し、知床の自然の素晴らしさ（世界自然遺産として価値）を伝えるとともに、利用にあたって守ってもらべきルール・マナーについて啓発を行う施設です。

また、知床世界遺産管理のための施設として、地域の人や研究者、学生等に対し、知床世界遺産の管理について最新の情報を提供する施設です。

規模・構造

- ・建設位置：北海道斜里郡斜里町ウトロ
- ・建築規模：約 756 m²
- ・敷地面積：約 2,800 m²
- ・構造：木造平屋建て

主要機能

展示：来館者に知床世界遺産を普及啓蒙するとともにルールやマナーを理解してもらう。

情報提供：世界遺産に関する報告書や書籍を配置し管理や利用等の情報提供を行う。

レクチャー：レクチャー、会議、講演会等、多目的に利用が可能。

休憩：来館者がベンチ等で休憩ができる。

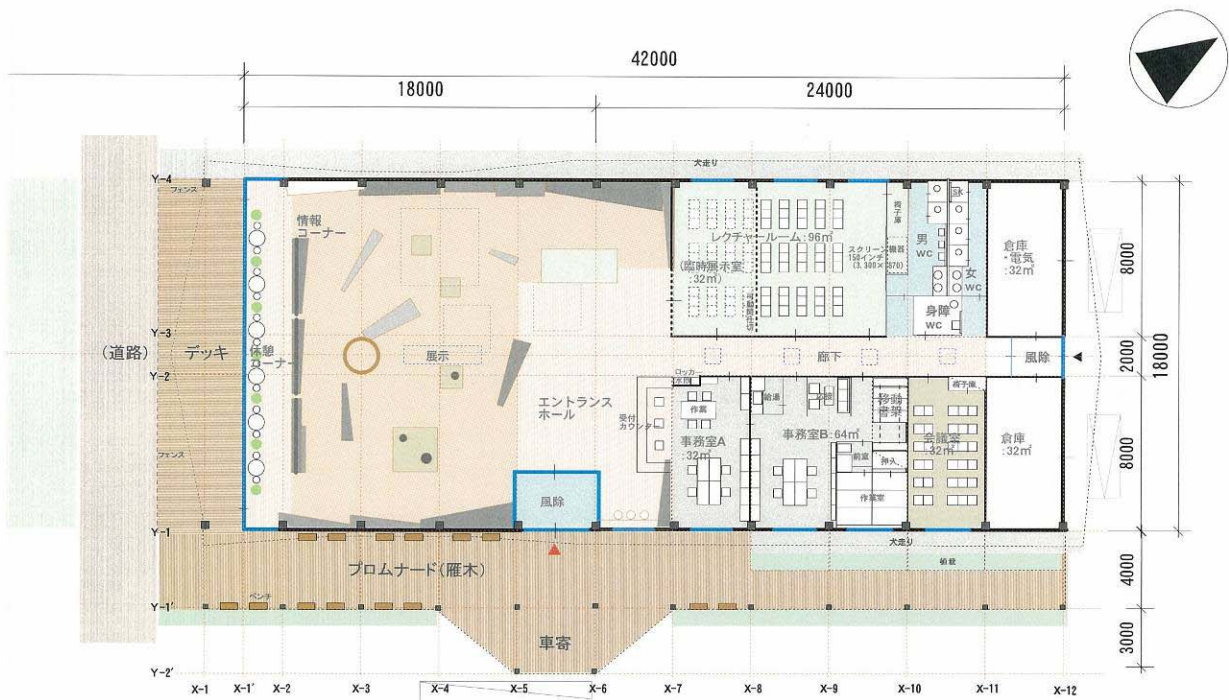
管理：来館者対応、遺産地域の管理に係る職員が常駐する。

スケジュール

平成19年度	関係機関等との調整（H19年 4月 ～ H19年12月）
	設 計（H19年10月 ～ H20年 3月）
平成20年度	工 事 実 施（H20年 6月 ～ H21年 3月）
平成21年度	開 館

その他

羅臼町ルサ地区に関係施設として、知床世界遺産ルサフィールドハウス（仮称）を整備する。



平面図
床面積: 756m²

知床世界遺産 ルサ フィールドハウス（仮称）について

環境省釧路自然環境事務所

目的

知床世界遺産ルサフィールドハウス（仮称）は知床世界自然遺産地域の先端部への入口施設として、先端部を利用する利用者に対し、ルールやマナーのレクチャーや先端部現地のリアルタイム情報等を提供して事故防止と環境保全を図るための施設です。また、来館者へ海洋生態系と陸上生態系の相互関係や先住民族から今日までの知床における人と海との関わりを通して、知床の自然の素晴らしさ（世界自然遺産として価値）を伝える施設です。

規模・構造

- ・ 建設位置：北海道目梨郡羅臼町ルサ
- ・ 建築規模：約 263 m²
- ・ 敷地面積：約 1,497 m²
- ・ 構造：木造一部二階建て

主要機能

レクチャー：レクチャー等多目的に利用が可能。

情報提供：先端部現地のリアルタイム情報等の提供を行う。

展示：海洋生態系と陸上生態系の相互関係や先住民族から今日までの知床における人と海との関わりを通して、知床の自然の素晴らしさ（世界自然遺産として価値）を伝える。

休憩：来館者がベンチ等で休憩、ホエールウォッチングができる。

管理：来館者対応に係る管理スペース。

スケジュール

平成19年度	関係機関等との調整（H19年 4月 ～ H20年 2月）
	設計（H19年10月 ～ H20年 3月）
平成20年度	工事実施（H20年 6月 ～ H21年 3月）
平成21年度	開館

その他

知床地域のポータルサイトとして知床世界遺産センター（仮称）を整備する。

